



くわがた通信



VOL. 65

手稲区 富丘西宮の沢まちづくりセンター

2016.12.

〒006-0012 札幌市手稲区富丘2条2丁目1-1 (Tel. 685-4745 Fax. 685-0376)

避難所運営訓練 ～ 富丘連合町内会

10月1日(土)、手稲中学校で、富丘連合町内会主催の避難所運営訓練が実施されました。訓練には、災害が発生した時に手稲中学校に避難する地域の皆さんと連合町内会の役員、合わせて約150名が参加。札幌市DIGマスターの小林環(こばやし・たまき)さんが講師を務め、さまざまな訓練を行いました。



避難所の備蓄品を確認しました



家庭で用意する非常持ち出し品を確認しました



地区内の災害発生危険個所を確認しました

富丘西宮の沢地区では、災害が発生した場合の収容避難場所として、富丘小学校、西宮の沢小学校、手稲中学校の3か所が指定されています。

実際に災害が発生した場合、避難所に配備される区役所職員は2～3名です。避難所の運営には、避難者である地域の皆さんの協力が欠かせません。

富丘連合町内会では、このような訓練を通じて地域の防災力を高めるための努力を続けています。



ダンボール箱を使用して居住スペースを作りました

福祉のまち推進センター研修会「災害にも強い地域づくり」

11月8日(火)、富丘西宮の沢地区福祉のまち推進センター(福まち)が主催する研修会が開催されました。今回の研修テーマは、「災害にも強い地域づくり」。講師は、一般財団法人ウェルビー・デザインの篠原辰二(しのはら・しんじ)さんです。

篠原さんからは、全国各地の災害避難場所での豊富な経験を踏まえて、日ごろからの地域のつながりが災害にも強い地域づくりへとつながるというお話があり、参加した約70名の皆さんは真剣に耳を傾けていました。



富丘西宮の沢まちづくり協議会「健康づくり事業」

■中の川桜づつみを歩こう会 10月10日(月) ■

当日は小雨が降ったり止んだりの肌寒い日でしたが、スタートとなる富丘西宮の沢会館裏の中の川緑地には、約300名が集まりました。

コースは、富丘東公園で折るかえす約3キロメートルと、天候を考慮して二十四軒・手稲通で折るかえす約2キロメートルの2つ。途中からは雨も上がって青空が顔をのぞかせるようになり、参加者は体力に合わせてコースを選択してウォーキングを楽しみました。



■医療講演会 11月16日(水) ■

今回のテーマは、脂肪が燃焼するときができる物質「ケトン体」。美田内科循環器科クリニックの美田晃章(みた・てるあき)医師を講師にお招きし、ケトン体が私たちの体に及ぼす影響と日常生活の中でメタボや糖尿病、認知症、癌などを予防する方法についてお話していただきました。

福祉のまち推進センター「異世代交流会」



10月22日(金)、福まち主催の「異世代交流会」が開催されました。

この交流会は、一人暮らしのお年寄りに、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしてもらおうと、毎年開催しているものです。小学生16名と地域の70歳以上の一人暮らしのお年寄り約30名が参加しました。

交流会では、まず子どもたちが、この日のために練習してきたリコーダーやハンドベルの演奏、花笠踊りなどを披露し、お年寄りたちから暖かい拍手を受けていました。テーブル対抗のじゃんけん

ゲームが始まるころには会場は和やかな雰囲気につつまれ、お年寄りも子どもたちも一緒になって楽しいひと時を過ごしました。

不法投棄のないさわやかなまち並づくり事業

11月14日(土)に開催された、富丘西宮の沢連合町内会連絡協議会主催の研修会において、花苗を活用して地域の環境美化に積極的に取り組んでいる町内会を表彰しました。今年の表彰団体は、以下のとおりです。

最優秀賞：富丘西二町内会

優秀賞：富丘東六町内会、富丘西三町内会

優良賞：富丘東四町内会、追分町内会、つくし町内会



■富丘西宮の沢地区の出来事は、まちづくりセンターのホームページでもご覧いただけます■

http://www.city.sapporo.jp/teine/machi_center/tominishi/index.html